

ユニリタマガジン

UNIRITA

Magazine

vol.80

特集

DX・SX実現のカギは
「データとサービス」のマネジメント
ユニリタグループの最新サービスを紹介

システム運用管理&アプリケーション保守のトータルサービスを提供

業務効率化の新習慣! 派遣業界を変える「AppMyPortal」

香川県坂出市での活用事例:

地域社会の「交通×DX」を推進! 共創型まちづくりを支える「Community MaaS」

未来に翔る! 第41回 UNIRITAユーザシンポジウム見どころを紹介!

システム管理者の会、新始動! 2025年の活動計画

ユニリタのSNS&コーポレートサイトで最新情報をチェックしよう!

DX・SX実現のカギは「データとサービス」のマネジメント ユニリタグループの最新サービスを紹介

ユニリタグループは商号変更から10年目を迎え、社員数668名(2024年3月現在)と大きな組織へと成長してきました。人材価値の最大化を図り、ユニリタグループで働くユニークな社員が個々の価値観を共有し、共に成長できる組織の実現を目指します。ユニリタグループのコアコンピタンスである「サービスマネジメント」と「データマネジメント」を基盤に、この2つの強みを活かした事業を展開しています。

その目的はデジタル技術を活用したビジネスモデルの変革(DX)や、持続可能な事業成長を目指すサステナビリティ経営への変革(SX)をお客様とともに実現することです。お客様の立場になりながら、ITサービスとデータを効果的に結びつけ、組織を横断する変革を推進するための組織、プロセス、基盤の構築をサポートしています。今号では、ユニリタグループの強みである「サービスマネジメント」と「データマネジメント」に焦点を当て、グループ各社の長をを活かした取り組みを紹介します。

ユニリタグループの特長

サービスマネジメントとは

お客様のニーズにマッチした適切なITサービスの提供から改善、維持管理までのマネジメント活動全般を指します。ビジネスとITをつなぎ、サイロ化した運用からお客様志向の価値提供を実現するため、組織と人、テクノロジー、パートナーやサプライヤー、価値提供の流れやプロセスを適切に管理することです。

ユニリタグループでは、ITサービスの運用効率化やサービス品質の向上を目指し、自社開発の運用管理ツールの提供や、お客様の多様なニーズに対応したハイブリッド環境向けのクラウドサービスなど、さまざまなソリューションを提供しています。また、企業の運用プロセスを見直し、より高い生産性と柔軟性を実現するためのソリューションとしてコンサルティングなどプロフェッショナルサービスを提供しています。

データマネジメントとは

データマネジメントとは、企業が正しいデータを適切なタイミングで利用するために行うマネジメント活動を指します。貴重なデータを最大限活用するため、戦略策定や実行計画から、運用設計、蓄積する仕組みの構築、維持管理など、データの活用に関わる活動全般とデータの適切な管理をすることです。

ユニリタグループでは、膨大なデータを価値ある情報に変換し、お客様の事業競争力向上に資する取り組みを進めています。自社開発の分析ツールを活用したデータ統合と可視化、AI技術を活用した予測分析など意思決定の迅速化と精度向上の実現を支援しています。また、クラウドプラットフォームを活用したデータ管理基盤を提供し、安全性と拡張性の高い環境構築を実現しています。これらは、お客様が抱えるさまざまな課題を解決するとともに、将来の成長を見据えた柔軟なソリューションとして提供しています。

お客様の成功を統合的な支援で実現

ユニリタグループでは、「プロダクトサービス」「クラウドサービス」「プロフェッショナルサービス」の3つの事業を柱に、企業のDXやSXの実現に向け、統合的な支援を展開しています。それぞれのサービスは事業として独立しておりますが、相互に連携することで、より大きな価値を生み出すことができると考えています。例えば、クラウド基盤を活用した運用管理ツールの導入と同時に、データ分析の専門家によるサポートを提供することが可能です。

こうした多面的な事業の連携とサービスの提供を通じて、DXやSXを目指すお客様を、柔軟かつ具体的にご支援していきます。



ユニリタグループは、サービスマネジメントとデータマネジメントを強みとした取り組みを通じて、お客様のビジネスを成功へと導くことを目指しています。これらの活動をさらに多くの方々に知っていただくため、ユニリタマガジンでは今後もグループ各社の取り組みや成果を積極的に紹介していきます。ぜひご期待ください!

今号では、次頁より2つの新しいサービスと1つの事例を紹介しています。

システム運用管理&アプリケーション保守 のトータルサービスを提供

ユニタエスアールのシステム運用のノウハウと、日本情報産業株式会社のレガシーアプリケーション保守における多くのノウハウを組み合わせ、「メインフレームアプリケーション保守・運用支援サービス」として提供を開始しました。

メインフレームを主としたシステムを保持している企業の課題として、COBOL言語をはじめとするアプリケーション開発やメインフレーム運用に携わる人材の流出や、高齢化および、引き継ぎ人材の不足などが大きな課題となっています。

これらの課題に対し、両社の豊富な経験と技術力を基盤に、レガシーアプリケーションのメンテナンスや改善から、お客様のシステム保守・運用までを支援するトータルサービスとなります。

特長



経験豊富な技術者による保守・運用を利用することで、お客様はDX推進などに注力することができます。今後、メインフレーム脱却を検討しているお客様にも、現状のシステムを維持しながらブラックボックス化した部分を可視化し、移行準備としてドキュメント化などに活用できます。

また、マイグレーション後のシステム運用およびアプリケーション保守に対しても対応が可能です。ユニタエスアールのオペレーションセンターからお客様の運用支援、監視、定型IT作業、サービスデスクなどのさまざまなサービスを提供します。

提供サービス



1 メインフレームのシステム運用管理

COBOLやレガシーシステムを熟知した技術者が長期的に支援

お客様のIT部門の作業を巻き取り

24時間 365日対応可能

安定したオペレーションを提供

システム運用管理全般に対応可能

メインフレーム筐体のハウジング管理

2 レガシーアプリケーションの保守

アプリケーションのメンテナンスを実施

COBOLやPL/IやRPGなど、レガシーシステムのブラックボックスを可視化しドキュメント化



メリット・効果



作業手順書により
工数削減
属人化排除
セキュリティ向上

高品質な
自律型の保守体制
によりIT部門の
負荷の軽減

経験豊富な
COBOL技術者により
高い生産性
高品質を実現

業務効率化の新習慣！ 派遣業界を変える「AppMyPortal」



AppMyPortal

ヒューアップテクノロジーは、派遣会社の管理者が直面する「スタッフ管理の効率化」や「派遣スタッフの満足度向上」といった課題を解決するために、業務プロセスのデジタル化が不可欠だと考えています。労働人口の減少と人材需要の高まりの中で、派遣会社が直面する最重要課題は、優秀な人材の確保です。この課題を解決するためには、派遣スタッフとの効果的なコミュニケーションを確立し、情報を迅速かつ確実に伝達できる体制を整えることが求められます。

従来、急募案件の際に登録済みの派遣スタッフと連絡が取れなくなったり、書類のやり取りを手動で行い、郵送やメール、FAXでの返送に時間や手間がかかるなどの課題がありました。また、営業担当者が外出先で派遣スタッフの情報や過去の対応履歴を確認できず、業務の効率が低下している場面も見受けられました。そこで、これらの課題に対応するデジタルツールとして、「AppMyPortal(アップマイポータル)」を紹介します。

特長

「AppMyPortal」では派遣スタッフが専用のスマホ対応マイページを通じて、シフト確認、届出の提出、連絡先の変更などを手軽に行うことが可能です。さらに、派遣会社の管理者や営業担当者とのコミュニケーションがスムーズになり、業務効率の向上と負担軽減が期待されます。

こうした特長により、派遣スタッフの利便性が向上するだけでなく、スタッフの定着率アップや派遣会社の競争力強化にもつながります。また、「AppMyPortal」の導入は1カ月程度で完了するため、迅速に運用を開始できます。さらに一人当たり月額150円(税別)とコストパフォーマンスに優れたソリューションです。

効果

派遣会社にとって、数百名規模のスタッフを効率的に管理することは大きな課題です。「AppMyPortal」を活用することで情報がデジタル化され、営業担当者から派遣スタッフに関する問い合わせが大幅に削減されます。その結果、営業担当者は本来の業務に専念できるようになり、全体的な業務効率の向上を実現します。

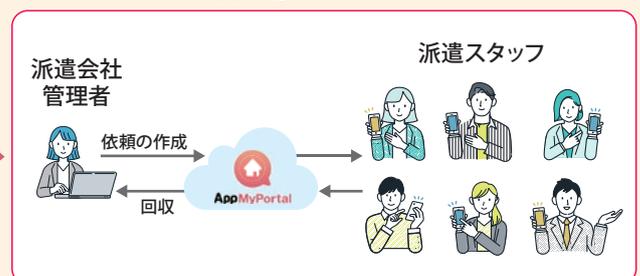
特に、労働基準法に基づく「過半数代表者」の選任業務は、告知の送信や派遣スタッフからの返信の収集・確認に多くの時間と労力を費やす必要がありました。「AppMyPortal」では、過半数代表者の選任に必要な告知を一括で送信し、派遣スタッフからの返信(投票)を一元管理することが可能です。収集した投票内容を簡単にダウンロードして確認できる機能も搭載されており、従来よりも短時間で正確に過半数代表者を選出できるようになります。

紙やメールでの手作業の配布をタスク機能により一斉配信へ

従来の運用



AppMyPortal を利用



作成した入力フォームを用いてアンケートを一斉に配信し、回収まで一元化できます。

香川県坂出市での活用事例： 地域社会の「交通×DX」を推進！ 共創型まちづくりを支える「Community MaaS」

ユニ・トランドの事業テーマは、「持続可能な地域社会の実現」です。その想いを込めて開発した「Community MaaS（コミュニティマース）」は、共創型まちづくりのプラットフォームとして、地域活性化施策をDX化する仕組みです。これを使えば、複数の公共交通機関に加え、移動先の商業施設・地域施設・自治体などが提供する「移動の目的を促すサービス」を最適に組み合わせることで連携させることができます。

また、そこで取得したデータを分析することで住民サービスの向上、エビデンスにもとづく地域活性化施策の立案、そして未来の街づくりに役立てることが可能です。

そこで今回は、「Community MaaS」が、共創型まちづくりのプラットフォームとして活用されている香川県坂出市の事例を通じ、持続可能な地域社会の実現に向け、地域社会のデジタル変革を支えるユニ・トランドの取り組みを紹介します。

香川県坂出市の事例

香川県のほぼ中央部に位置し、人口約5万人、約2万世帯を有する坂出市。かつては「塩のまち」「塩の積み出し港」として栄え、高度経済成長期には塩田跡地を活用した港湾開発や埋め立て等により四国最大の貨物取扱量を誇る坂出港の整備や大規模臨海工場の誘致など、全国有数の港湾工業都市へと変貌した自治体です。

そんな坂出市では、こんな課題を抱えていました。

課題1

バスの利用者数や
利用実態を正確に
把握できていなかった

課題2

公共交通機関での
キャッシュレス決済が
未導入だった

課題3

公共交通を維持するための
運賃の設定方法が確立されて
いなかった

そこで坂出市では、バスなど公共交通の再編や利便性向上を行う施策の一環として、「Community MaaS」を導入しました。

「Community MaaS」が 提供するサービスの 概要

- ・坂出市内を運行する琴参バス株式会社に、「バスロケーション/乗降数収集システム」「運行状況調査レポートサービス (MANALYZE)」「データ解析サービス (MA-P)」を提供
- ・バス事業者および複数のタクシー会社に「キャッシュレス決済システム」を提供
- ・さらに「マイナンバーカード連携」機能を開発

ユニークな導入効果

- ・公共交通キャッシュレス決済システムを短期間で開発！
- ・地域の乗合交通の運賃を「ゾーン運賃制」へ統一したうえで、マイナンバーカード連携機能によるキャッシュレス市民割引を実施するという新たな運賃体系を実現
- ・キャッシュレス決済の履歴データをデータサイエンティストが解析し収益改善に向けた路線再編施策などを立案
- ・乗降場所別の乗降データや遅延状況などを可視化しEBPM(エビデンスに基づく政策立案)に貢献

この坂出市の取り組みは、デジタル庁が発行する「マイナンバーカード・インフォ Vol.56 (2024.11.29発行)」に掲載され、地域の活性化と持続可能な公共交通の実現を目指した先進的な事例として紹介されています。

ユニ・トランドでは、地域の人流と交通の課題解決のため、今後もこのノウハウを全国の自治体に活用してもらおうべく積極的に営業活動を行っていく考えです。



事例の詳細情報はこちら! https://www.unitrand.co.jp/casestudy_post/sakaide/

「Community Maas」の詳細情報はこちら! <https://www.unitrand.co.jp/community-maas/>



未来に翔る！ 第41回 UNIRITAユーザシンポジウム 見どころを紹介！

今年もUNIRITAユーザシンポジウムが、3月6日(水)・7日(木)の2日間にわたり開催されます。今年のテーマは「翔る」。このテーマには、デジタル時代における新たな挑戦と、未来への飛躍に向けた思いが込められています。

ユーザー企業様による事例発表、講演会、マネジメントセッションなど、多彩で実りあるプログラムをご用意しています。この記事では、現在確定している内容の中から、プログラムの一部を紹介します。

3月6日(1日目) 事例発表

会社名	株式会社日本標準 様	会社名	株式会社山櫻 様
発表タイトル	「今までどおり」からの脱却-業務改善運動の象徴に	発表タイトル	老舗メーカーのカスタマーサクセス導入事例 カスタマーサポートからの転換
発表概要	学校を取り巻く環境もコロナ禍をきっかけにDXが一気に動いた。保守的な学校教材業界にもデジタルサービスへの対応が求められ、業務の見直しは必然であった。その中で請求という顧客を巻き込むデジタルサービスへの変化は社内でも最初は抵抗が大きかったが、導入が大きな功績を生んだ。	発表概要	山櫻が手掛けるcorezo(コレッソ)は法人向けクラウド名刺発注サービスです。新規で導入いただくお客様が増え続けるなか、主体的にお客様の課題解決に取り組むことを目指しカスタマーサクセスを導入しました。導入の経緯と実際の取組みを紹介します。
会社名	株式会社サーラビジネスソリューションズ 様	会社名	京都電子計算株式会社 様
発表タイトル	ID管理の未来を築く ~システム刷新で実現する効率化への道~	発表タイトル	LMISによる大規模サポートサイト構築: Cloud PARKの事例から
発表概要	グループ個社ごとに属人化していたID申請から登録・変更・削除までのIDライフサイクルを刷新し、新たな統合認証基盤としてIDaaS「Digital Workforce」を導入。ID管理の標準化を実現し、ID登録を含めた管理負担の軽減を実現した経緯と未来への展望を紹介します。	発表概要	弊社の「Cloud PARK」のサポートサイトをLMISで刷新し、開発・保守コストを約3分の1削減。システムの安定性と拡張性が向上し、顧客と販売代理店のコミュニケーション機能も強化しました。構築の事例を旧サイトの課題と併せて発表します。

3月7日(2日目)

講演会

失敗を成功に導く心の持ち方

講演者 おくら くみこ
小椋 久美子 氏



経歴

8歳の時、姉の影響を受け地元のスポーツ少年団でバドミントン始める。中学卒業後、四天王寺高校へ進学。2000年に全国高校総体でダブルス準優勝、2001年の全国高校選抜でシングルス準優勝を果たす。三洋電機入社後の2002年には全日本総合バドミントン選手権シングルスで優勝。その後、ダブルスプレーヤーに転向し、北京オリンピックで5位入賞、全日本総合バドミントン選手権では5連覇を達成。2010年1月に現役を引退。同年3月、三洋電機を退社。現在は解説や講演、子供たちへの指導を中心にバドミントンを通じてスポーツの楽しさを伝える活動を行っています。

マネジメントセッション

The Evolution and Future of Continuous Security Validation with AI 「AIによる継続的なセキュリティ検証の進化」

講演者 ホーム パーマンヤール
Hom Bahmanyar 氏

Ridge Security Technology Inc.
Global Enablement Officer

講演概要

サイバー攻撃はますます高度化、巧妙になり、セキュリティ(システム)概況は常に変化する中、企業にとって侵害を防止し、ビジネスレジリエンスを保つためには継続的なプロセスが必須。GartnerによるCTEM(Continuous Threat Exposure Management)とAIを活用した自動化の有用性も市場では認識されている。このセッションでは市場概況となぜCTEMなのか、AIによるセキュリティ検証をもって、企業が面している、サイバーセキュリティ対応のリソース不足などの課題をどう解決するか、ヒントになり得る情報を共有します。

経歴

Hom氏は過去20年以上にわたり大手企業でエンジニアリング、マーケティング、営業、開発など全ての分野での知見と経験を積み、常に革新的なテクノロジーを追い求めているベテラン。前職ではCisco社でCiscoのCSM(Cisco Security Manager)やIP Solution Center製品の開発チームを率い、またRedSeal社ではクラウドおよび既存のネットワークデバイスとのインテグレーションモデル構築するなどの経験がある。顧客との強い絆を築き、顧客が長年の友人、ファンになって欲しい、が彼の信念です。

今回紹介したプログラムのほかにも、さまざまな内容が用意されており、ビジネスやITに関する最新の知見を深める絶好の機会となっています。ご参加の皆様が新たな発見やインスピレーションを得られることを期待しています。ぜひ、天津でお会いしましょう。

UNIRITAユーザシンポジウムの詳細情報はこちら！

<https://symposium.uniritauser.jp/>

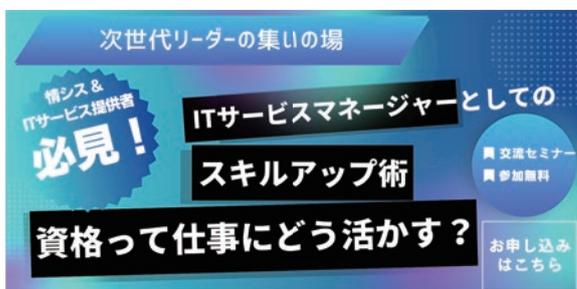
システム管理者の会は、個人会員19,000名以上、賛同企業400社以上の、日本最大規模のシステム管理者のネットワークです。主な活動は、情報交換や交流の機会となる「システム管理者感謝の日イベント」や各種セミナーの開催をはじめ、ITサービスマネジメントに関するスキルアップや知識習得をサポートする「システム管理者認定講座」や、日頃の感謝の気持ちや慰労メッセージを伝えあう活動を表彰する「システム管理者の会アワード」などを実施しています。

2024年夏に開催した「システム管理者感謝の日イベント」で打ち出した新コンセプトのもと、2025年はさらに活動を進化させ、ITサービスマネジメントに携わる皆様の支援を強化していきます!

新コンセプト

システム管理者の会は、ITサービスマネジメントの理解を促進し、認知度を向上させるためのコミュニティを運営します。この活動を通じて、優れたサービスを追求するプロフェッショナル人材の育成に寄与することで、デジタル社会の持続的な発展に貢献します。

「システム管理者の会」2025年の活動計画



ITサービスマネージャーとしてのスキルアップ術、
資格って仕事にどう活かす?

ITサービスマネージャーを目指したい方はもちろんのこと、部署全体でスキルアップを図りたい教育ご担当者様にも必見の内容となっています。

日時: 2月21日 (金) 15:00 ~ 18:30
場所: 株式会社ユニリタ 品川本社

お申し込みはこちら!

https://www.sysadmingroup.jp/event_seminar/seminar/offevent1/

2025年第一四半期イベント

IT女子座談会

IT業界で活躍する女性たちの声をお届けする
大人気イベント「IT女子座談会」

多くの企業がIT人材不足に悩んでおり、ITスキルを持つ女性の活躍の場が増えています。このような女性に役立つ情報が得られるよう、ITに携わる女性にフォーカスした座談会です。

第5弾は2024年6月に開催され、大盛況でした。第6弾は、2025年5～6月頃に開催予定です。

システム管理者の会最大のイベント

「第19回システム管理者感謝の日イベント」
7月16日(水)開催予定

同じ志を持つ方々と直接交流し、ネットワークを広げる絶好の機会です。前回2024年のテーマは「AIとヒト、サービスマネジメントの共存」でした。今年はどんなテーマが待っているのか、ご期待ください!

大好評! 「システム管理者認定講座」は、2025年度も開講します

「システム管理者認定講座」は、受講者のスキルに合わせて、ITサービスマネジメントの業務に必要なスキルや知識を身につけることができるため、ITキャリアアップを目指す方には必見です。

「システム管理者認定講座」の
詳細はこちら

※お申し込みページは3月公開予定です。「団体申し込み」は、御見積書の提示後にお手続きいただけます。
<https://www.sysadmingroup.jp/nintei/>

システム管理者の会アワード

「システム管理者の会アワード」は、ITシステムを支えるシステム管理者の方々の努力や業務への貢献を称え、感謝の気持ちを伝えることをはじめ、日頃の感謝を伝えあう、慰労のメッセージを交わし合うといった活動を組織的にしている事例を紹介する活動です! 各社の活動を募集していますので、ぜひ皆様もご応募ください!

システム管理者の会についての詳細情報はこちら!

<https://www.sysadmingroup.jp>

ユニリタのSNS&コーポレートサイトで最新情報をチェックしよう!

ユニリタでは、SNSやWebサイトを通じて、さまざまな情報を発信しています。

最新ニュースやサービス情報、働き方の取り組みまで、ユニリタをより深く知っていただけるコンテンツが満載です。この機会に、ぜひチェックしてみてください!

note

ユニリタ公式noteでは、ユニークな視点で執筆された記事を毎週公開しています。最新の技術トレンドやビジネスのヒント、ユニリタでの働き方、技術者のコラムなど、さまざまなテーマを取り上げています。お客様や、採用活動などを通じて、noteの記事を読んでいた方からは、ユニリタの企業文化を感じられると非常に好評です。

noteはこちら! <https://note.unirita.co.jp/>



こんな記事が人気です!

DE&I推進(LGBTQ+について考える)PRIDE指標2024ブロンズ取得を目指して 編 | 猫好き管理部...

こんにちは。ユニリタ コーポレート業務本部 部長の金子です。新中計 (ReConnect 2026) でも取り上げているダイバーシティ推進の話をします。ユニリタは、多様な人材が活躍できる制度や仕組みづくり、職場改善に取...

♡ 45



「ハイブリッドワークの強い味方!」ユニリタの福利厚生者の紹介〜リモートHQ利用の裏側〜

こんにちは!ユニリタ 人材戦略部の佐々木です。前回は福利厚生者の【社長のおこり自販機】の紹介をしました。今回は「なぜユニリタがハイブリッドワークを実現できているのか?」の裏側に潜入!社員満足度が高いリモー...

♡ 30



ユニリタにやってきた癒し系新入社員+LOVOT(らぼっと)と働く毎日をご紹介します

こんにちは。ユニリタ 人材戦略部のSuzuです。今回は2024年3月からユニリタに加わった新しい仲間、「LOVOT(らぼっと)」をご紹介します。そもそもLOVOT(らぼっと)ってなに? LOVE x ROBOT = LOVOTLOVOTは、GR...

♡ 23



X(旧Twitter)・Facebook



日々の活動を気軽にキャッチできるのが、ユニリタのXとFacebookです。サービスや製品情報だけでなく、ユニリタの取り組みやイベントの裏側を紹介する投稿も多数。お客様とのコミュニケーションをはかる場として活用しています。特にXでは毎日投稿を心がけ、タイムリーで親しみやすい情報発信を行っています。

Xはこちら! <https://x.com/UNIRITAJp>



Facebookはこちら! <https://www.facebook.com/uniritajp/>



ユニリタコーポレートサイト

ユニリタコーポレートサイトでは、サービスや製品の詳細情報、最新事例などを豊富に掲載しています。さらに、セミナーやイベント情報を随時更新しており、業界トレンドや課題解決のヒントが詰まったコンテンツを提供しています。また、持続可能な社会の実現に向けた取り組みや、お客様とともに歩む未来への挑戦を発信しています。ぜひユニリタコーポレートサイトをご覧ください。

2月下旬にはユニリタコーポレートサイトへのコンテンツ追加と、採用サイトのリニューアル公開も予定しています。

Webサイトはこちら! <https://www.unirita.co.jp/>



ユニリタのSNSやWebサイトは、皆様のビジネスに役立つ情報をお届けする重要なツールです。最新の技術情報や事例紹介、業務効率化のヒントに加え、ユニリタの企業文化や取り組みなど、多様なコンテンツを発信しています。ユニリタはこれからもリアルでもオンラインでも人と人とのつながりを大切にしながら、皆様とつながり続ける企業でありたいと考えています。

UNIRITA

www.unirita.co.jp

株式会社ユニリタ

本社 〒108-6029 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟
名古屋営業所 〒451-0045 名古屋市中区名駅3-9-37 合人社名駅3ビル

ユニリタグループ

株式会社ビューアップテクノロジー / 株式会社データ総研 / 備美必(上海)軟件科技有限公司 / 株式会社ピーエスピーソリューションズ / 株式会社ユニトランド / 株式会社ユニリタプラス / 株式会社無限 / 株式会社ユニリタエスアール

※ 本誌掲載の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

※ 掲載されている内容については、改善などのため予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

©2025 UNIRITA Inc. MG80-2502-800-1